

## 文献情報に基づく影響評価（信頼性評価）の進捗状況について

### 1. 昨年度までの取組み（概要）

#### （1）信頼性評価第 1 回について

①平成 17 年度に化学物質環境実態調査が実施されたのべ 83 物質において以下の条件<sup>1)</sup>に該当した 22 物質（群）のうち、平成 8～17 年度に実施した化学物質環境実態調査等において検出された 15 物質を「化学物質の内分泌かく乱作用に関連する報告の信頼性評価」（以下、「信頼性評価」という。）を行う物質として選定し、文献検索及び信頼性評価のための作業を実施した。

1)平成 17 年度化学物質環境実態調査の対象物質選定時に実施した文献調査において化学物質の内分泌かく乱作用に関する影響有りとする報告が得られた物質（群）であって、これまでに環境省において化学物質の内分泌かく乱作用に関する魚類及びほ乳類による動物試験を実施していない物質（群）

②信頼性評価が終了した 10 物質のうち、7 物質について内分泌かく乱作用に関する試験対象物質となり得る物質とし、3 物質について現時点では試験対象物質としない物質とした。

内分泌かく乱作用に関する試験対象物質となり得る物質	エストロン、 <i>p</i> -ジクロロベンゼン、 <i>N,N</i> -ジメチルホルムアミド、2,4,6-トリブロモフェノール、2,4-トルエンジアミン、ヒドラジン、フェンチオン（7 物質）
現時点では試験対象物質としない物質	<i>o</i> -ジクロロベンゼン、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩、トリフルラリン（3 物質）

#### （2）信頼性評価第 2 回について

①（1）で信頼性評価が終了していなかった 5 物質のうち、2 物質<sup>2)</sup>については平成 21 年度も文献検索を行い、新たに得られた報告も加えた信頼性評価を実施することとし、3 物質<sup>3)</sup>については、使用実態が認められない物質であるため、信頼性評価を実施しないこととした。

2) カルバリル（NAC）、ペルフルオロオクタン酸

3)トキサフェン（未登録の殺虫剤、POPs）、ビンクロゾリン（失効した殺菌剤）、メトキシクロル（失効した殺虫剤）

②平成 18 年度に化学物質環境実態調査が実施されたのべ 112 物質（群）のうち、平成 8～18 年度に実施した化学物質環境実態調査において検出された 47 物質群から、現時点で使用実態が認められない物質<sup>4)</sup>、対象物質が特定できない物質<sup>5)</sup>及び ExTEND2005 において平成 20 年度までに信頼性評価の対象とした物質<sup>6)</sup>を除いた 35 物質を、化学物質の内分泌かく乱作用に関連する報告の文献検索を行う物質とした。

4)化審法第一種特定化学物質、失効した農薬

5)「金属及びその化合物」など CAS 番号が特定できない物質

6)エストロン、カルバリル (NAC)、*o*-ジクロロベンゼン、*p*-ジクロロベンゼン、*N,N*-ジメチルホルムアミド、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩、トキサフェン、トリフルラリン、2,4,6-トリブロモフェノール、2,4-トルエンジアミン、ヒドラジン、ビンクロゾリン、フェンチオン、ペルフルオロオクタン酸、メトキシクロル

③検索を行った 35 物質から、検索により選抜された報告のうち、化学物質の内分泌かく乱作用に関連しない報告<sup>7)</sup>を除き 1 件以上の報告が残った 26 物質のうち、報告数が 10 件を超えた 15 物質を平成 21 年度において信頼性評価を行う物質とした。

7)体内濃度または環境中濃度の測定結果のみの報告、総説、環境中での分解性に関する報告、名称が類似した別物質に関する報告、用途のみの報告、当該物質を被験物質としてではなく溶媒等として使用した報告、急性毒性に関する報告

④「化学物質の内分泌かく乱作用に関連する報告の信頼性評価の進め方」に従って、(2)①の 2 物質及び③の 15 物質の合計 17 物質について、信頼性評価を行った。

⑤信頼性評価が終了した 17 物質のうち、11 物質について内分泌かく乱作用に関する試験対象物質となり得る物質とし、6 物質について現時点では試験対象物質としない物質とした。

内分泌かく乱作用に関する試験対象物質となり得る物質	カルバリル (NAC)、カルボフラン、シアナジン、ジウロン、ジクロルボス、ジクロロブロモメタン、ダイアジノン、フェニトイン、フェニトロチオン、フェノバルビタール、ペルフルオロオクタン酸 (11 物質)
現時点では試験対象物質としない物質	アジピン酸、フェナントレン、1-ブタノール、ベンジルアルコール、メタクリル酸メチル、EPN (6 物質)

### (3) 信頼性評価第3回について

①平成18年度に化学物質環境実態調査が実施されたのべ112物質(群)のうち、平成8～18年度に実施した化学物質環境実態調査において検出された47物質群から、現時点で使用実態が認められない物質、対象物質が特定できない物質及びExTEND2005において平成20年度までに信頼性評価の対象とした物質を除くと、35物質あった。このうち、平成21年度に「化学物質の内分泌かく乱作用に関連する報告の信頼性評価」(以下、「信頼性評価」という。)を実施した15物質を除いた20物質を、平成22年度に文献検索を行う物質とした。

②平成19年度に化学物質環境実態調査が実施されたのべ69物質(群)のうち、平成8～19年度に実施した化学物質環境実態調査において検出された34物質群(当時のPOPs及びHCH類を除く)から、現時点で使用実態が認められない1物質<sup>8)</sup>、対象物質が特定できない2物質<sup>9)</sup>及び平成21年度までに信頼性評価の対象とした3物質<sup>10)</sup>を除いた28物質を、平成22年度に文献検索を行う物質とした。

8)ペンタクロロベンゼン：2010年4月1日に化審法第一種特定化学物質に指定

9)バナジウム及びその化合物：単体と化合物の合計値のみが示されている。

水素化テルフェニル：同族体ごとに測定されている。

10)フェナントレン、フェンチオン及びベンジルアルコール

③(3)①及び②において選定された48物質について検索を行い、化学物質の内分泌かく乱作用に関連しない報告<sup>7)</sup>を除き1件以上の報告が残った35物質のうち、報告数が10件を超えた13物質を平成22年度において信頼性評価を行う物質とした。

④「化学物質の内分泌かく乱作用に関連する報告の信頼性評価の進め方」に従って、(3)③の13物質について、信頼性評価を行った。

⑤信頼性評価が終了した13物質のうち、7物質について内分泌かく乱作用に関する試験対象物質となり得る物質とし、6物質について現時点では試験対象物質としない物質とした。

内分泌かく乱作用に関する試験対象物質となり得る物質	アクリルアミド、アラクロール、2,4-ジクロロフェノキシ酢酸、テトラブロモビスフェノールA、ナフタレン、モリネート、りん酸トリフェニル(7物質)
現時点では試験対象物質としない物質	アクリル酸、ジノカップ、テトラクロロベンゼン、トリクロロベンゼン、フタル酸ジメチル、メルカプト酢酸(6物質)

#### (4) 信頼性評価第4回について

①平成20年度に化学物質環境実態調査が実施されたのべ76物質(群)のうち、平成8～20年度に実施した化学物質環境実態調査において検出された45物質群(当時のPOPs及びHCH類を除く)から、現時点で使用実態が認められない12物質<sup>1)</sup>、対象物質が特定できない1物質<sup>2)</sup>及び平成22年度までに信頼性評価の対象とした2物質<sup>3)</sup>を除いた30物質を、平成23年度に文献検索を行う物質とした。

②信頼性評価第2回～第3回での文献検索により得られた報告数が9件以下であった33物質についても平成23年度に文献検索を行う物質とした。

1)6-*tert*-ブチル-3-メチルチオ-1,2,4-トリアジン-5(4*H*)-オン(別名:メトリブジン-デスアミノ)及び6-*tert*-ブチル-1,2,4-トリアジン-3,5(2*H*,4*H*)-ジオン(別名:メトリブジン-デスアミノ-ジケト):分解物

クロルデコン、2,2,2-トリクロロ-1,1-ビス(4-クロロフェニル)エタノール(別名:ケルセン又はジコホル)、2,4,6-トリ-*tert*-ブチルフェノール、テトラブロモジフェニルエーテル類、ペンタブロモジフェニルエーテル類、ヘキサブロモジフェニルエーテル類、ヘプタブロモジフェニルエーテル類、ヘキサクロロブタ-1,3-ジエン、2-(2*H*-1,2,3-ベンゾトリアゾール-2-イル)-4,6-ジ-*tert*-ブチルフェノール及びポリ塩化ナフタレン類:化審法第一種特定化学物質

2)ジオクチルスズ化合物:単体と化合物の合計値のみが示されている。

3)フタル酸ジ-*n*-ブチル及び*N*-メチルカルバミン酸1-ナフチル(別名:NAC又はカルパリル)

③平成12～21年度に「環境基準項目」として公共用水域水質測定が実施された29項目及び平成6～21年度に「要監視項目」として公共用水域水質測定が実施された28項目の合計57項目から、現時点で使用実態が認められない1物質<sup>4)</sup>、対象物質が特定できない19項目<sup>5)</sup>、平成22年度までに信頼性評価の対象とした6物質<sup>6)</sup>及び(4)②において文献検索を行うとした1物質<sup>7)</sup>を除いた30物質を、平成23年度に文献検索を行う物質とした。

4)PCB:化審法第一種特定化学物質

5)カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素、全窒素及び全燐、全亜鉛、オキシ銅(有機銅)、ニッケル、モリブデン、アンチモン、全マンガン及びウラン:単体と化合物の合計値のみが示されている。

6)*p*-ジクロロベンゼン、ダイアジノン、フェニトロチオン、EPN、ジクロルボス及びフタル酸ジエチルヘキシル

7)フェノブカルブ

④(4)①、②及び③において選定された93物質について検索を行い、化学物質の内分泌かく乱作用に関連しない報告を除き1件以上の報告が残った72物質のうち、報

告数が 10 件以上であった 23 物質を平成 23 年度において信頼性評価を行う物質とした（別添参照）。23 物質の名称と主な用途を表 1 に示した。

⑤「化学物質の内分泌かく乱作用に関連する報告の信頼性評価の進め方」に従って、化学物質環境実態調査において検出された 8 物質（アクロレイン、アトラジン、ジエチレングリコール、2,6-ジ-*tert*-ブチル-4-メチルフェノール、1-ナフトール、2-プロパノール、4-*tert*-ペンチルフェノール及びメソミル）について、信頼性評価を行った（資料 1－2 参照）。残りの 15 物質について信頼性評価を実施中である。

表 1 平成 23 年度に信頼性評価の対象とする物質（信頼性評価第 4 回）

（名称五十音順）

名称	主な用途
アクロレイン	医薬品（メチオニンなど）、繊維処理剤、アリルアルコール、グリセリン、グルタルアルデヒド、1,2,6-ヘキサントルオール及び架橋結合剤の原料。コロイド状オスミウム、ロジウム、ルテニウムの製造、溶剤等
アトラジン（別名：2-クロロ-4-エチルアミノ-6-イソプロピルアミノ-1,3,5-トリアジン）	農薬（除草剤）
ジエチレングリコール	プラスチック用（アルキド、ポリエステル、ポリウレタン）、印刷インキ、ソルブルオイル、繊維用接着剤、ブレーキ油、可塑剤、ユデックス抽出用溶剤、ガス脱水用、セロハンの柔軟剤、セメント混和剤等
2,6-ジ- <i>tert</i> -ブチル-4-メチルフェノール（別名：BHT）	酸化防止剤及びプラスチックの劣化防止剤等
1-ナフトール	染料の原料
2-プロパノール（別名：イソプロピルアルコール）	合成アセトンの中間原料。溶剤、ニトロセルロースラッカー溶剤、印刷インキ用抽出溶剤、脱水剤、ヘアトニックローション配合剤、製薬用、消毒用、航空機用の凍結防止、ラジエーター冷却水の氷結防止、ブレーキ油調合剤、合成原料等
4- <i>tert</i> -ペンチルフェノール	精密化学品（染料中間物・ゴム薬品・界面活性剤他）の原料、写真感光材料の原料
メソミル（別名： <i>S</i> -メチル- <i>N</i> -(メチルカルバモイルオキシ)チオアセトイミダート）	農薬（殺虫剤）

デカブロモジフェニルエーテル (PBDE#209)	プラスチック製品等の難燃剤
クロロホルム*	溶媒、溶剤
シマジン*	農薬（除草剤）
チウラム*	農薬（殺菌剤）、ゴムの加硫促進剤等
テトラクロロエチレン*	機械金属部品・電子部品の脱脂、ドライクリーニング用洗剤等
1,1,1-トリクロロエタン*	機械金属部品・電子部品の脱脂、ドライクリーニング用洗剤等 モントリオール議定書付属書 の規制物質で、1996 年以降エッセンシャルユースを除き生産及び消費が全廃されている。
トリクロロエチレン*	粘着剤、溶剤等
エピクロロヒドリン*	エポキシ樹脂、接着剤、塗料、医療用グリセリン、合成ゴム、繊維や紙の表面改質等
塩化ビニルモノマー*	ポリ塩化ビニルの原料
キシレン*	溶媒
四塩化炭素*	機械器具用洗剤、殺虫剤、ドライクリーニング用洗剤、フロンガス製造、化学工業原料等 モントリオール議定書付属書 の規制物質で、1996 年以降試薬としての使用を除き生産及び消費が全廃されている。
ジクロロメタン*	プリント基板洗浄、金属脱脂洗浄、冷媒、ラッカー等
トルエン*	溶媒
ベンゼン*	染料、溶剤、合成ゴム、合成皮革、合成顔料等
ホルムアルデヒド*	溶媒、樹脂原料、接着剤、塗料、防腐剤

\*公共用水域水質測定対象物質

(別添)

## 検出状況及び関連文献数

平成 18、19、20 年度化学物質環境実態調査検出物質については平成 23 年 8 月 2～3 日に検索実施。公共用水域水質測定対象物質については平成 23 年 9 月 23～25 日に検索実施。

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H20 黒本	1912- 24-9	2-クロロ-4-エチルアミノ-6-イソプロピルアミノ-1,3,5-トリアジン (別名: アトラジン)	農薬 (除草剤) <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結果 (推定値 t/年) 国内出荷生産量不明または 0、輸入 87 (製剤)、環境排出 35 (土壌 100%)	19/48 0.00034 ～ 0.0034	10/59 0.00014～ 0.0041			230
要監視項目 (人の健康の保護に関する)	108-8 8-3	トルエン	合成原料 (合成繊維、染料、火薬 (TN T)、香料、有機顔料、可塑剤、ガソリン成分、溶剤 (塗料、インキ) <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 大気 71,111,349、公共用水域 34,035、土壌 20、埋立 290、排出量合計 71,145,694	H6～ H21 指 針値超 過地点 なしだ が、検 出地 点あり				108
要監視項目 (人の健康の保護に係わる)	1330- 20-7,9 5-47-6 ,108-3 8-3,10 6-42-3	キシレン	合成原料 (テレフタル酸、染料、有機顔料、香料、可塑剤、医薬品)、ガソリン・灯油成分、溶剤 (塗料、農薬) <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 大気 32,495,877、公共用水域 10,913、土壌 74、埋立 11、排出量合計 32,506,875	H6～ H21 指 針値超 過地点 なしだ が、検 出地 点あり				55

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
環境基準 項目（人の 健康の保 護に關す る）	71-43- 2	ベンゼン	合成原料 （スチレ ン、フェノ ール、無水 マレイン 酸、染料、 有機顔料、 合成洗剤、 医薬品、香 料、合成繊 維、農薬、 可塑剤、防 腐剤（PC P）、防虫 剤）、溶剤、 ガソリン 成分 <sup>1)</sup>	※2009年度 PRTR集計結 果（kg/年）大 気 802,067、公 共用水域 4,571、土壌 5、 埋立 0、排出量 合計 806,642	H12～ H21基 準値超 過検体 あり				45
環境基準 項目（人の 健康の保 護に關す る）	79-01- 6	トリクロロエ チレン	溶剤（染 料、生ゴ ム、硫黄、 ピッチ、塗 料）、洗淨 剤（脱脂、原 毛用）、合 成原料（代 替フロン）、 農薬（殺虫 剤） <sup>1)</sup>	※2009年度 PRTR集計結 果（kg/年）大 気 3,322,297、 公共用水域 2,256、土壌 44、 埋立 0、排出量 合計 3,324,597	H12～ H21基 準値超 過検体 あり				38
環境基準 項目（人の 健康の保 護に關す る）	127-1 8-4	テトラクロロ エチレン	溶剤（ド ライクリ ーニング、医 薬品、香 料、塗料）、 洗淨剤（原 毛用）、合 成原料（代 替フロン） <sup>1)</sup>	※2009年度 PRTR集計結 果（kg/年）大 気 1,117,930、 公共用水域 1,008、土壌 0、 埋立 0、排出量 合計 1,118,938	H12～ H21基 準値超 過検体 なしだ が、検出 検体あ り				31
H20 黒本	128-3 7-0	2,6-ジ- <i>tert</i> -ブ チル-4-メチル フェノール（別 名：BHT）	酸化防止 剤（各種プ ラスチック、食品添 加物、家畜 用飼料）、 老化防止 剤（天然ゴ ム、合成ゴ ム） <sup>2)</sup>	※PRTR集計 結果は2011年 度から届出予 定	9/36 0.0013 ～ 0.0078	20/56 0.0018～ 0.30	貝 6/7 魚 14/17 鳥 1/2 貝 0.00053 ～0.0018 魚 0.00050 ～0.026 鳥 0.0019 ～0.0025	温 77/86 寒 75/10 温 1.6～ 230 寒 1.5～ 1,000	30



区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
環境基準 項目（人の 健康の保 護に關す る）	122-3 4-9	シマジン	農薬（除草 剤） <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年) 大 気 0、公共用 水域 412、土 壤 0、埋立 0、 排出量合 計 412	H12～ H21 基 準値超 過検体 あり				27
H20 黒本	107-0 2-8	アクロレイン	合成原料 （医薬品、 アリルア ルコール、 グリセリ ン、架橋 剤）、合成 樹脂原料 （アクリ ルフォー ム） <sup>1)</sup>	平成 20（2008） 年度化審法監 視化学物質届 出結果公表値 なし（100t 未 満） ※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年) 大 気 2,070、公 共用水域 24、 埋立 0、排出 量合計 2,094				21/21 20～500	23
環境基準 項目（人の 健康の保 護に關す る）	56-23- 5	四塩化炭素	合成原料 （ホスゲ ン、農薬 （殺虫 剤））、溶 剤 <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年) 大 気 6,305、公 共用水域 211、 埋立 0、排出 量合計 6,516	H12～ H21 基 準値超 過検体 あり				21
環境基準 項目（人の 健康の保 護に關す る）	137-2 6-8	チウラム	農薬（殺虫 剤）、加硫 促進剤（チ ウラム系） <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年) 大 気 13、公共用 水域 793、土 壤 0、埋立 0、 排出量合 計 806	H12～ H21 基 準値超 過検体 あり				21
要監視項 目（人の健 康の保護 に關する） （水生生 物保全に 係わる）	67-66- 3	クロロホルム	合成原料 （代替フ ロン、フッ 素樹脂）、 医薬品（麻 酔剤、消毒 剤、血液防 腐剤）、溶 剤（ゴム・ メチルセ ルロース 用） <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年) 大 気 419,922、公 共用水域 37,654、土 壤 0、埋立 0、 排出量合 計 457,577	H16～ H21 生 物特 A 指針値 超過地 点あり				20

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H20 黒本	1163- 19-5	デカブロモジ フェニルエー テル (PBDE#209)	難燃剤 (ポ リエチレ ン・ABS 樹 脂・ポリス チレン・ポ リエステ ル樹脂用) 1)	※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年) 大 気 33、公共用水 域 2,042、土壌 0、埋立 0、排出 量合計 2,075			貝 3/7 魚 4/16 鳥 1/2 貝 0.00010 ~0.00017 魚 0.000084 ~0.00023 鳥 0.000086 ~0.00011		18
環境基準 項目 (人の 健康の保 護に關す る)	71-55- 6	1,1,1-トリクロ ロエタン	合成原料 (代替フ ロン用)、 試薬、溶 剤、洗淨剤 1)	※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年) 大 気 2,579、公共 用水域 10,605、 土壌 0、埋立 0、 排出量合計 13,184	H12~ H21 基 準値超 過検体 なしだ が、検出 検体あ り				17
要監視項 目 (水生生 物保全に 係わる)	50-00- 0	ホルムアルデ ヒド	合成樹脂 原料 (フェ ノール系、 尿素系、メ ラミン系 合成樹脂、 ポリアセ タール樹 脂)、パラ ホルムア ルデヒド、 繊維処理 剤、その他 (消毒剤、 一般防腐 剤) 1)	※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年) 大 気 210,203、公 共用水域 32,855、土壌 0、 埋立 0、排出量 合計 243,058	H16~ H21 生 物特 A 指針値 超過地 点あり				17
環境基準 項目 (人の 健康の保 護に係わ る)	75-09- 2	ジクロロメタ ン	洗淨剤 (金 属脱脂)、 溶剤(重合 用)、エアゾ ール噴射 剤、インキ 成分、ペイ ント剥離 剤 1)	※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年) 大 気 13,467,920、 公共用水域 5,920、土壌 19、 埋立 0、排出量 合計 13,473,859	H12~ H21 基 準値超 過検体 あり				16

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H20 黒本	16752 -77-5	Sメチル-N(メ チルカルバモ イルオキシ)チ オアセトイミ ダート (別名: メソミル)	農薬 (殺虫 剤) <sup>5)</sup>	平成 20 (2008) 農薬年度製造 32.7t (1.0%粒 剤)、177.6kL (45%水和剤 DF)、48.0t (1.5%粉粒剤) 輸入 1,000t (原 体) <sup>5)</sup>	夏 16/20 秋 7/33 夏 0.00040 ~0.036 秋 0.0030 ~ 0.0064				15
H20 黒本	80-46- 6	4-tert ペンチ ルフェノール	精密化学 品 (染料中 間物・ゴム 薬品・界面 活性剤他) の原料、写 真感光材 料の原料 <sup>3)</sup>	平成 19 (2007) 年度化学物質 の製造・輸入量 に関する実態 調査確報値 (モ ノアルキル (C3 ~9) フェノー ルとして) 100,000~ 1,000,000t 未 満	0/33 -	6/26 0.00029~ 0.00044			14
H20 黒本	111-4 6-6	ジエチレング リコール	プラスチ ック用 (アル キド、ポリ エステル、ポ リウレタン)、 印刷イン キ、ソルブ ルオイル、 繊維用接 着剤、ブレ ーキ油、可 塑剤、ユデ ックス抽 出用溶剤、 ガス脱水 用、セロハ ンの柔軟 剤、セメン ト混和剤 等 <sup>3)</sup>	平成 20 (2008) 年輸入 15,920t (ジエチレン グリコールま たはジゴー ル)、輸出 373t <sup>3)</sup> 平成 19 (2007) 年度化学物質 の製造・輸入量 に関する実態 調査確報値 (ジ エチレングリ コールとして) 10,000~ 100,000t 未満				5/5 6.1~45	14

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H20 黒本	67-63- 0	2-プロパノール (別名：イソプロピルアルコール)	合成アセトンの中 間原料。溶 剤、ニトロ セルロー スラッカ ー溶剤、印 刷インキ 用抽出溶 剤、脱水 剤、ヘアト ニックロ ーション 配合剤、製 薬用、消毒 用、航空機 用の凍結 防止、ラジ エーター 冷却水の 氷結防止、 ブレーキ 油調合剤、 合成原料 等 <sup>3)</sup>	平成 20 年 (2008 年) 製 造 152,062t、輸 入 27,705t、輸 出 31,250t <sup>3)</sup> 平成 19 (2007) 年度化学物質 の製造・輸入量 に関する実態 調査確報値 (プ ロピルアルコ ールとして) 100,000～ 1,000,000t 未 満				5/5 200～ 4,900	13
要監視項 目 (人の健 康の保護 に係わる)	75-01- 4	塩化ビニルモ ノマー	合成樹脂 原料 (ポリ 塩化ビニ ル樹脂、塩 化ビニル -酢酸ビ ニル共重 合樹脂、塩 化ビニル -塩化ビ ニリデン 共重合樹 脂) <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年) 大 気 245,494、公 共用水域 6,474、土壌 0、 埋立 0、排出量 合計 251,968	H6～ H21 指 針値超 過地点 あり				11

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
要監視項目 (人の健康の保護に係わる)	106-8 9-8	エピクロロヒドリン	合成樹脂原料(エポキシ樹脂)、合成原料(グリセリン、界面活性剤、イオン交換樹脂、医薬品)、加工剤(繊維処理)、可塑剤、農薬(殺虫・殺菌剤) <sup>1)</sup>	※2009年度PRTR集計結果(kg/年) 大気 53,454、公共用水域 4,602、土壌 0、埋立 0、排出量合計 58,056	H6～H21 指針値超過地点あり				10
H20 黒本	90-15- 3	1-ナフトール	染料の原料 <sup>3)</sup>	平成 20 年 (2008 年) 製造 60t (推定) <sup>3)</sup> 平成 19 (2007) 年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値 (1-ナフトールとして) 10～100t 未満	20/20 0.00036 ～ 0.0093				10
要監視項目 (水生生物保全に係わる)	108-9 5-2	フェノール	合成樹脂原料(フェノール樹脂)、合成原料(ピクリン酸、アニリン、ビスフェノール-A、農薬、可塑剤、染料)、消毒剤、歯科用局所麻酔 <sup>1)</sup>	※2009年度PRTR集計結果(kg/年) 大気 314,661、公共用水域 8,739、土壌 0、埋立 0、排出量合計 323,401	H16～H21 生物特A 指針値超過地点あり				9
環境基準項目 (人の健康の保護に係わる)	542-7 5-6	1,3-ジクロロプロペン	農薬(殺虫剤) <sup>1)</sup>	※2009年度PRTR集計結果(kg/年) 大気 5,489、公共用水域 262、土壌 0、埋立 0、排出量合計 5,751	H12～H21 基準値超過検体あり				7

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
要監視項目 (人の健康の保護に係わる)	1836-77-7	クロルニトロフェン	農薬 (除草剤、現在は失効) <sup>4)</sup>		H6～H21 指針値超過地点なしだが、検出地点有の可能性あり				7
H19 黒本	23564-05-8	ジメチル=4,4'-( $\sigma$ -フェニレン)ビス(3-チオアロファネート) (別名: チオファネートメチル)	農薬 (殺菌剤) <sup>5)</sup>	平成 19 (2007) 農薬年度製造 5,063.6t (原体)、330.6t (70%水和剤)、125.5kL (40%水和剤ゾル)、52.0kL (70%水和剤 (フロアブル))、30.0kL (0.2%水和剤 (スプレー))、590.1t (2%粉剤)、164.9t (3%ペースト剤)、9.9t (20%ペースト剤)、輸出 3,310.7t (原体)、802.4t (製剤) <sup>5)</sup>	1/9 0.00090				7
環境基準項目 (人の健康の保護に係わる)	107-06-2	1,2-ジクロロエタン	合成原料 (塩化ビニル原料、エチレンジアミン、医薬品、農薬 (殺虫剤))、合成樹脂原料 (ポリアミノ酸樹脂)、洗浄剤 (フィルム用)、溶剤、くん蒸剤 <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 大気 270,777、公共用水域 2,673、土壌 0、埋立 0、排出量合計 273,449	H12～H21 基準値超過検体あり				6

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
環境基準 項目 (人の 健康の保護に 係わる)	75-35- 4	1,1-ジクロロエ チレン	合成樹脂 原料 (ポリ 塩化ビニ リデン (食 品包装用 フィルム)) <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年) 大 気 78,688、公 共用水域 1,728、 土壌 0、埋立 0、 排出量合計 80,415	H12～ H21 基 準値超 過検体 なしだ が、検出 検体有 の可能 性あり				6
環境基準 項目 (人の 健康の保護に 係わる)	28249 -77-6	チオベンカル ブ	農薬 (除草 剤) <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年) 大 気 0、公共用水 域 2,456、土壌 0、埋立 0、排 出量合計 2,456	H12～ H21 基 準値超 過検体 なしだ が、検出 検体有 の可能 性あり				6
H20 黒本	99-76- 3	4-ヒドロキシ安 息香酸メチル	化粧品の 防腐剤、医 薬品の防 腐剤 <sup>3)</sup>	平成 19 (2007) 年度化学物質 の製造・輸入量 に関する実態 調査確報値 (ヒ ドロオキシ安 息香酸アルキ ル (C1～22) と して) 1,000～ 10,000t 未満	1/3 0.003				6
H20 黒本	123-3 0-8	<i>p</i> アミノフェ ノール	医薬中間 体 (アセト アミノフ ェン・解熱 鎮痛剤)、 硫化染料 の中間体、 ゴム用老 化防止剤、 毛皮用酸 化染料、写 真現像薬 <sup>3)</sup>	平成 20 年 (2008 年) 製 造 400t <sup>3)</sup> 平成 19 (2007) 年度化学物質 の製造・輸入量 に関する実態 調査確報値 (ア ミノフェノー ルとして) 100 ～1,000t 未満	1/3 0.010～ 0.014				6
要監視項 目 (人の健 康の保護 に係わる)	78-87- 5	1,2-ジクロロブ ロパン	農薬 (殺虫 剤)、溶剤 (合成樹 脂用)、く ん蒸剤 <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年) 大 気 117,669、公 共用水域 352、 土壌 0、埋立 0、 排出量合計 118,021	H6～ H21 指 針値超 過地点 なしだ が、検出 地点有 の可能 性あり				5

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H20 黒本	534-5 2-1	4,6-ジニトロ- <i>o</i> - クレゾール	不詳 <sup>6)</sup>	不詳 <sup>6)</sup>	7/7 0.0037 ~0.069				5
H19 黒本 H20 黒本	91-22- 5	キノリン	農薬、医 薬、界面活 性剤、清缶 剤用イン ヒビター <sup>3)</sup>	平成 19 (2007) 年製造約 900t (推定) <sup>3)</sup> 平成 20 年 (2008 年) 製 造 900t (推定) <sup>3)</sup>	H19 4/7 0.0030 ~0.013			H20 11/15 0.32~ 12	5
H18 黒本	108-9 4-1	シクロヘキサ ノン	カプロラ クタム、ア ジピン酸 及びナイ ロンの製 造原料、高 沸点溶剤、 ペンキ及 びワニス のはく離 剤、染色の 安定剤、ケ トン樹脂 <sup>3)</sup>	平成 16 (2004) 年度化学物質 の製造・輸入 に関する実態 調査 (シクロヘ キサノンとし て) 100,000~ 1,000,000t 未 満	nd~500 1/5	nd 0/5			5
H20 黒本	101-7 7-9	4,4'-ジアミノ ジフェニルメ タン	エポキシ 樹脂の硬 化剤、染料 中間体 <sup>3)</sup>	平成 20 (2008) 年度化審法監 視化学物質届 出結果公表値 製造・輸入 1,513t 平成 19 (2007) 年度化学物質 の製造・輸入 に関する実態 調査確報値 (4,4'-ジアミ ノジフェニル メタンとして) 10~100t 未満	11/28 0.0011 ~0.016				4
H20 黒本	132-6 5-0	ジベンゾチオ フェン	医薬中間 体等 <sup>6)</sup>		13/48 0.00058 ~ 0.0039	61/64 0.00016~ 0.079	貝 6/7 魚 11/17 鳥 0/2 貝 0.000098 ~0.0013 魚 0.000084 ~0.00086 鳥-		4



区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H20 黒本	106-4 1-2	<i>p</i> -プロモフェ ノール	不詳 <sup>6)</sup>	平成 20 (2008) 年度化審法監 視化学物質届 出結果公表値 なし (100t 未 満)	2/34 0.0020 ～ 0.0029				4
H20 黒本	606-2 0-2	2,6-ジニトロト ルエン	合成原料 (2,4-トル エンジア ミン、染 料、火薬) 1)	平成 20 年度 (2008 年度) 化審法監視化 学物質届出結 果公表値なし (100t 未満) ※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年) 大 気 110、公共用 水域 410、土壤 0、埋立 0、排 出量合計 520		H20 0/15 -		H14 1/6 5.3～14	4
H18 黒本	834-1 2-8	2-エチルアミノ -4-イソプロピ ルアミノ-6-メ チルチオ-1,3,5- トリアジン (別 名：アメトリ ン)	農薬 (除草 剤) <sup>5)</sup>	平成 16 (2004) 農薬年度：製造 23.0kL (25%乳 剤)、輸入 5.0t (原体) <sup>5)</sup> 平成 17 (2005) 農薬年度：不詳 <sup>5)</sup> 平成 18 (2006) 農薬年度：不詳 <sup>5)</sup> 化審法監視化 学物質届出結 果公表値なし (100t 未満)	nd～5.1 1/11				4
H18 黒本	1194- 65-6	2,6-ジクロロベ ンズニトリル (別名：ジクロ ベニル又は DBN)	農薬 (除草 剤) <sup>1)</sup>	平成 18 (2006) 年度化審法監 視化学物質届 出結果公表値 製造・輸入 128t ※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年) 大 気 1、公共用水 域 0、土壤 0、 埋立 0、排 出量合計 2				0.10～ 0.76 7/7	4

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H20 黒本	141-3 2-2	アクリル酸- <i>n</i> - ブチル	アクリル 繊維、繊維 加工、塗 料、紙加 工、接着 剤、皮革加 工、アクリ ルゴム <sup>3)</sup>	平成 20 年 (2008 年) 製 造 221,190t、輸 入 45,959t、輸 出 32,807t (但 し、アクリル酸 エステル (アク リル酸メチル、 アクリル酸エ チル、アクリル 酸ブチル、アク リル酸 2-エチ ルヘキシル) と しての生産 量・輸入量・輸 出量) <sup>3)</sup> 平成 19 (2007) 年度化学物質 の製造・輸入量 に関する実態 調査確報値 (ア クリル酸アル キル (C3~4) として) 100,000~ 1,000,000t 未 満				1/20 78	3
H20 黒本	21087 -64-9	4-アミノ -6- <i>tert</i> -ブチル -3-メチルチオ -1,2,4-トリアジ ン-5(4 <i>H</i> )-オン (別名:メトリ ブジン)	農薬 (除草 剤) <sup>5)</sup>	平成 20 (2008) 農薬年度製造 45.0t (0.4%粉 粒剤)、29.5kL (50%水和 剤)、48.1t (0.5%粒剤)、 119.8t (0.7%粒 剤) 輸入 39.6t (原体) <sup>5)</sup>	夏 7/20 秋 0/33 夏 0.0015 ~ 0.0044 秋-	夏 0/20 秋 0/26 夏- 秋-		0/20 -	3
要監視項 目 (人の健 康の保護 に係わる)	26087 -47-8	イプロベンホ ス	農薬 (殺菌 剤) <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年) 大 気 2、公共用水 域 0、土壌 0、 埋立 0、排出量 合計 2	H6~ H21 指 針値超 過地点 あり				3

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
環境基準 項目 (人の 健康の保 護に係わ る)	123-9 1-1	1,4-ジオキサン	溶剤 (合成 皮革、塗 料、合成反 応用)、分 散剤 <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年) 大 気 46,437、公共 用水域 69,429、 土壌 0、埋立 0、 排出量合計 115,866	H6~ H21 指 針値超 過地点 あり				3
H18 黒本 要監視項 目 (人の健 康の保護 に係わる)	3766- 81-2	N-メチルカル バミン酸 2-sec ブチルフェニ ル (別名:フェ ノブカルブ又 は BPMC)	農薬 (殺虫 剤) <sup>1)</sup>	平成 18 (2006) 年度化審法監 視化学物質届 出結果公表値 製造・輸入 2,288t ※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年) 大 気 0、公共用水 域 0、土壌 0、 埋立 0、排出量 合計 0	H18 0.2~5.1 10/10  H6~ H21 指 針値超 過地点 なしだ が、検出 地点有 の可能 性あり				3
H19 黒本	87-82- 1	ヘキサブプロ モベンゼン	熱可塑性 樹脂、熱硬 化性樹脂、 合成繊維 及び合成 ゴム製品 の難燃剤 <sup>3)</sup>		0/48 —	21/64 0.0011~ 0.015	貝 0/7 魚 6/16 鳥 1/2 貝— 魚 0.0001 ~0.0002 鳥 0.0001 ~0.0002		3
H19 黒本	28575 -17-9	ジエチルビフ ェニル	熱媒体 <sup>3)</sup>	平成 19 (2007) 年度化審法監 視化学物質届 出結果公表値 なし (100t 未 満)	0/13 —	2/11 0.000076 ~0.0071	魚鳥 1/10 魚鳥 0.000059 ~ 0.000090		3

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H18 黒本	109-9 9-9	テトラヒドロ フラン	各種樹脂 (特に塩 化ビニル 系樹脂) 溶 剤、印刷イ ンキ溶剤、 コールド クリーナ ー、ペイン トリムー バー、抽出 溶剤、グリ ニャール 反応及び $\text{LiAlH}_4$ 還 元のため の溶媒。合 成皮革表 面処理剤、 合成原料 等) <sup>3)</sup>	平成 18 年 (2006 年) : 国 内需要約 60,000t (輸入 4,521t)、輸出 5,927t <sup>3)</sup>				nd~260 3/7	3
H20 黒本	78-83- 1	イソブチルア ルコール	果実エッ センスの 製造、香 料、有機合 成溶剤、ペ イント除 去剤、メタ クリル酸 $\alpha$ - ブチル <sup>3)</sup>	平成 19 (2007) 年度化学物質 の製造・輸入量 に関する実態 調査確報値 (ブ チルアルコールとして) 100,000~ 1,000,000t 未 満				11/21 170~ 900	2
H20 黒本	106-4 8-9	4-クロロフェノ ール	染料中間 物、殺菌 剤、化粧品 原料 <sup>3)</sup>	平成 20 (2008) 年度化審法監 視化学物質届 出結果公表値 製造・輸入 845t 平成 19 (2007) 年度化学物質 の製造・輸入量 に関する実態 調査確報値 (モ ノクロロフェ ノールとして) 100~1,000t 未 満	2/34 0.0017 ~ 0.0027				2

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H20 黒本	88-72- 2	$\sigma$ ニトロトルエ ン	染料中間 物（トルイ ジン、フク シン）、有 機合成 <sup>3)</sup>	平成 19 (2007) 年度化学物質 の製造・輸入量 に関する実態 調査確報値（ニ トロトルエン として）1,000 ～10,000t 未満				1/8 23～31	2
H20 黒本	110-8 5-0	ピペラジン	アンチモ ン、ビスマ ス、金の検 出試薬、ウ レタン触 媒、有機ま たは無機 酸との塩 は駆虫薬 として使 用される。 その他有 機合成中 間原料 <sup>3)</sup>	平成 20 (2008) 年度化審法監 視化学物質届 出結果公表値 製造・輸入 2,860t 平成 20 年 (2008 年) 製 造 700t (推定) 平成 19 (2007) 年度化学物質 の製造・輸入量 に関する実態 調査確報値（ピ ペラジンとし て）1,000～ 10,000t 未満	4/31 0.012～ 0.040				2
H19 黒本	122-3 9-4	ジフェニルア ミン	合成原料 (染料、医 薬品)、安 定剤（火 薬・塩素系 溶剤用）、 有機ゴム 薬品 <sup>1)</sup>	平成 19 (2007) 年製造約 2,500t (推定) <sup>3)</sup> 平成 19 (2007) 年度化審法監 視化学物質届 出結果公表値 製造・輸入 12,323t 平成 16 (2004) 年度化学物質 の製造・輸入量 に関する実態 調査確報値（ジ フェニルアミ ンとして） 10,000～ 100,000t 未満 ※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年) 大 気 120、公共用 水域 1、土壌 0、 埋立 0、排出量 合計 121	0.011～ 0.026 8/19				2

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H19 黒本	38640 -62-9	ジイソプロピ ルナフタレン	熱媒体油 <sup>3)</sup>	平成 19 (2007) 年度製造・輸入 化審法監視化 学物質届出結 果公表値 780t	6/18 0.0015 ～ 0.0044				2
H18 黒本	598-7 8-7	2-クロロプロピ オン酸	合成原料 (医薬品、 農薬) <sup>3)</sup>	平成 17 年 (2005 年) : 製 造 400t <sup>3)</sup> 平成 18 年 (2006 年) : 不 詳 <sup>3)</sup>	nd 0/5			nd～1.4 4/5	2
H18 黒本 H20 黒本	126-7 3-8	りん酸トリ- <i>n</i> - ブチル	触媒、安定 剤(樹脂、 繊維)、可 塑剤、潤滑 油添加剤、 レーザー用 消泡剤 <sup>1)</sup>	平成 17 (2005) 年度 : 製造・輸 入化審法監視 化学物質届出 結果公表値 142t 平成 18 (2006) 年度化審法監 視化学物質届 出結果公表値 なし (100t 未 満) ※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年) 大 気 0、公共用 水域 0、土壌 0、 埋立 0、排出 量合計 0	H18 nd～84 10/19  H20 29/43 0.0080 ～0.094	H20 41/60 0.00073～ 0.019	H20 貝 6/7 魚 3/16 鳥 1/2 貝 0.00041 ～0.0012 魚 0.00041 ～0.00070 鳥 0.00041 ～0.00063	2	
H18 黒本 H20 黒本	84-65- 1	9,10-アントラ センジオン (別 名 : アントラキ ノン)	アントラ キノン系 染料の出 発原料。ス ルホン化、 ハロゲン 化、ニトロ 化などか ら酸性染 料、媒染 染料、建 染染料、 分散染 料など広 範囲の染 料の中間 体 <sup>33)</sup>	平成 19 (2007) 年度化学物質 の製造・輸入 量に関する実 態調査確報 値 (アントラ キノンとし て) 1,000 ～10,000t 未 満	H18 nd～140 1/7			H20 5/5 1.1～8.7	1

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
要監視項目 (人の健康の保護に係わる)	18854-01-8	イソキサチオン	農薬 (殺虫剤) <sup>1)</sup>	※2009年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 大気 0、公共用水域 0、土壌 0、埋立 0、排出量合計 0	H6～ H21 指 針値超 過地点 あり				1
要監視項目 (人の健康の保護に係わる)	50512-35-1	イソプロチオラン	農薬 (殺菌剤) <sup>1)</sup>	※2009年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 大気 2、公共用水域 9、土壌 0、埋立 0、排出量合計 11	H6～ H21 指 針値超 過地点 なしだ が、検出 地点有 の可能 性あり				1
H20 黒本	74-31-7	<i>N,N'</i> -ジフェニル- <i>p</i> -フェニレンジアミン類として) ゴムの老化防止剤及びスチレンブタジエンゴムの原料 <sup>6)</sup>	( <i>N,N'</i> -ジフェニル- <i>p</i> -フェニレンジアミン類として) ゴムの老化防止剤及びスチレンブタジエンゴムの原料 <sup>6)</sup>		H16 0/6 —  H20 0/48 —			H16 1/1 0.002～ 0.009	1
環境基準項目 (人の健康の保護に係わる)	79-00-5	1,1,2-トリクロロエタン	洗剤 <sup>1)</sup>	※2009年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 大気 10,971、公共用水域 896、土壌 0、埋立 0、排出量合計 11,867	H12～ H21 基 準値超 過検体 あり				1
H20 黒本	88-74-4	$\sigma$ -ニトロアニリン	染料中間物、医薬原料 <sup>3)</sup>	平成 16 (2005) 年製造 3,000t (推定) <sup>3)</sup> 平成 19 (2007) 年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値 (ニトロアニリンとして) 1,000～10,000t 未満		2/15 0.00010～ 0.00022		0/14 —	1

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H20 黒本	63936 -56-1	ノナブロモジ フェニルエー テル類	(ポリ臭 素化ジフ ェニルエ ーテル類 として) プ ラスチック 製品等 の難燃剤 <sup>6)</sup>				貝 1/7 魚 2/17 鳥 2/2 貝 0.000017 ～ 0.000023 魚 0.000014 ～ 0.000015 鳥 0.000016 ～ 0.000033		1
H19 黒本	120-6 1-6	テレフタル酸 ジメチル	合成繊維、 合成樹脂 <sup>3)</sup>	平成 19 (2007) 年輸入 26,846t、輸出 3,121t <sup>3)</sup> 平成 16 (2004) 年度化学物質 の製造・輸入量 に関する実態 調査確報値 (テ レフタル酸ジ メチルとして) 100,000～ 1,000,000t 未 満 ※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年) 大 気 2,480、公 共用水域 0、土 壌 0、埋立 0、排 出量合計 2,480				8/9 0.030～ 1.0	1
H19 黒本	110-8 3-8	シクロヘキセ ン	シクロヘ キサノー ル・L-リジ ン中間体、 特殊溶剤、 シクロヘ キセンオ キサイド 等各種有 機合成原 料 <sup>3)</sup>	平成 19 (2007) 年度化審法監 視化学物質届 出結果公表値 製造・輸入 142,645t	6/11 0.00029 ～0.014	1/11 0.00057～ 0.0027			1



区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H19 黒本	26898 -17-9	ジベンジルトルエン	2次可塑 剤、コンデ ンサー絶 縁油、感圧 紙用イン ク溶剤 <sup>3)</sup>	平成 19 (2007) 年度化審法監 視化学物質届 出結果公表値 製造・輸入 1,089t	8/13 0.00049 ～ 0.0053	9/11 0.0011～ 0.74	魚鳥 5/10 魚鳥 0.000058 ～0.036		1
H18 黒本	106-8 8-7	1,2-エポキシブ タン	洗浄剤 <sup>2)</sup>	平成 16 (2004) 年度化学物質 の製造・輸入量 に関する実態 調査 (ブチレン オキシドとし て) 1,000～ 10,000t 未満	nd～4.7 2/5			nd～160 2/3	1
H18 黒本	63935 -38-6	$\alpha$ シアノ-3-フ ェノキシベン ジル=2,2-ジク ロロ-1-(4-エト キシフェニル) シクロプロパ ンカルボキシ ラート (別名: シクロプロト リン)	農薬 (殺虫 剤) <sup>3)</sup>	平成 18 (2006) 農薬年度: 製造 13.3t (原体)、 29.6t (2%粒 剤)、97.8t (5% 粒剤) <sup>5)</sup>	nd～120 1/5			nd 0/5	1
環境基準 項目 (人の 健康の保 護に係わ る)	156-5 9-2	シス-1,2-ジク ロロエチレン	1,1-ジクロ ロエチレン 製造の 副生成物 <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年) 大 気 281、公共用 水域 3,387、土 壌 0、埋立 0、 排出量合計 3,668	H12～ H21 基 準値超 過検体 あり				0
要監視項 目 (人の健 康の保護 に係わる)	156-6 0-5	トランス-1,2- ジクロロエチ レン	洗浄剤の 微量添加 物 <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年) 大 気 8,433、公共 用水域 18、土 壌 0、埋立 0、排 出量合計 8,451	H6～ H21 指 針値超 過地点 なしだ が、検 出地 点有 の可 能 性あり				0
要監視項 目 (人の健 康の保護 に係わる)	23950 -58-5	プロピザミド	農薬 (除草 剤) <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結 果 (推定 t/年) 国内出荷生産 不明または 0、 輸入量 68 (原 体)、環境排出 量 28 (土 壌 100%)	H6～ H21 指 針値超 過地点 なしだ が、検 出地 点有 の可 能 性あり				0

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H19 黒本 H20 黒本	103-5 0-4	ジベンジルエ ーテル (別名: [(ベンジルオキ シ)メチル]ベン ゼン)	染色キャ リヤー、香 料 <sup>3)</sup>	平成 19 (2007) 年度化審法監 視化学物質届 出結果公表値 なし (100t 未 満)	H19 1/8 0.0052 ~ 0.0083	H19 3/6 0.00018~ 0.021		H20 3/6 0.14~ 0.59	0
H20 黒本	6165- 51-1	1,4-ジメチル -2-(1-フェニ ルエチル)ベン ゼン	不詳 <sup>6)</sup>	平成 20 (2008) 年度化審法監 視化学物質届 出結果公表値 製造・輸入 494t	3/7 0.0021 ~0.017	13/13 0.00004~ 0.065			0
H20 黒本	91-76- 9	6-フェニ ル-1,3,5-トリア ジン-2,4-ジア ミン	塗料、成形 材料、化粧 板、繊維お よび紙加 工用樹脂、 接着剤、耐 熱潤滑 剤のシッ クナー <sup>3)</sup>	平成 20 年 (2008 年) 製 造 4,500t (推 定) <sup>3)</sup> 平成 19 (2007) 年度化学物質 の製造・輸入 量に関する実 態調査確報値 (6-フェニル-1,3,5- トリアジン -2,4-ジアミン として) 100~ 1,000t 未満	6/8 0.0015 ~0.012			5/5 0.022~ 0.22	0
H20 黒本	32536 -52-0	オクタブロ モジフェニ ルエーテル 類	(ポリ臭 素化ジフ ェニルエ ーテル類 として) プ ラスチック 製品等 の難燃剤 <sup>6)</sup>				貝 6/7 魚 7/17 鳥 2/2 貝 0.0000038 ~ 0.000010 魚 0.0000036 ~ 0.000073 鳥 0.000030 ~ 0.000064		0
H19 黒本	92-52- 4	ビフェニル	熱媒体及 びその原 料、染色助 剤、防かび 剤、合成樹 脂、香料 <sup>3)</sup>	平成 19 (2007) 年製造 5,000t <sup>3)</sup> 平成 16 (2004) 年度化学物質 の製造・輸入 量に関する実 態調査確報値 (ビフェニルと して) 1,000~ 10,000t 未満				7/8 4.5~28	0

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H19 黒本	105-6 7-9	2,4-キシレノー ル	医薬・顔 料・抗酸化 剤中間体 <sup>3)</sup>	平成 16 (2004) 年度化学物質 の製造・輸入量 に関する実態 調査確報値 (ジ アルキル (C=1 ~5) フェノー ルとして) 10,000~ 100,000t 未満、 (ポリ (1~3) アルキル (C=1 ~3) ポリ (1~ 3) ヒドロキシ ポリ (1~5) フ ェニルとして) 100~1,000t 未 満	5/9 0.0016 ~ 0.0043				0
H19 黒本	6423- 43-4	二硝酸プロピ レン	不詳 <sup>6)</sup>	不詳 <sup>6)</sup>				1/8 2.0~3.9	0
H19 黒本	6731- 36-8	1,1-ビス( <i>tert</i> - ブチルジオキシ シ)-3,3,5-トリ メチルシクロ ヘキサン	天然ゴム、 合成ゴム (エチレ ンプロピ レンゴム (EPR)等)、 エチレン 酢酸ビニ ルコポリ マー(EVA) 等のα-オ レフィン ポリマー 及びコポ リマーの 架橋剤、不 飽和ポリ エステルの 硬化剤、 スチレン 等の重合 開始剤 <sup>3)</sup>	平成 19 (2007) 年度化審法監 視化学物質届 出結果公表値 公表値なし (100t 未満)	0/11 -	1/11 0.00014~ 0.00017			0
H19 黒本	90-13- 1	1-クロロナフタ レン	洗浄剤 <sup>2)</sup>	平成 19 (2007) 年度化審法監 視化学物質届 出結果公表値 なし (100t 未 満)				5/8 0.16~ 0.73	0

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H18 黒本	98-01- 1	フルフラール	溶剤、合成樹脂（フラン樹脂）、テトラヒドロフラン原料、ナイロン原料（アジピン酸の製造）、浮遊選鉱剤等 <sup>3)</sup>	平成 18 年（2006 年）：輸入 2,584t、輸出 52t <sup>3)</sup>				nd~85 5/7	0
H18 黒本	576-2 6-1	2,6-キシレノール	合成樹脂原料（エンジニアリングプラスチック）、合成原料（防かび剤、抗酸化剤） <sup>1)</sup>	平成 18（2006）年度化審法監視化学物質届出結果公表値製造・輸入 11,789t ※2009 年度 PRTR 集計結果（kg/年）大気 970、公共用水域 0、土壌 0、埋立 0、排出量合計 970	nd~3.4 2/6				0
H18 黒本	110-1 9-0	酢酸イソブチル	香料（バナナ、パイナップル、ラズベリー、西洋なし等） <sup>3)</sup>	平成 18 年（2006 年）：製造 1t <sup>3)</sup>				nd~570 4/7	0
H18 黒本	102-8 1-8	2-(ジ- <i>n</i> -ブチルアミノ)エタノール	触媒（ポリウレタン合成）、繊維助剤、乳化剤 <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結果（kg/年）大気 33、公共用水域 110、土壌 0、埋立 0、排出量合計 143	nd~76 1/5			nd 0/5	0
H18 黒本	3864- 99-1	2,4-ジ- <i>tert</i> -ブチル-6-(5-クロロ-2 <i>H</i> -1,2,3-ベンゾトリアゾール-2-イル)フェノール	不詳 <sup>6)</sup>	平成 18（2006）年度化審法監視化学物質届出結果公表値製造・輸入 549t	nd~ 0.23 4/6	0.18~41 6/6	0.053~3.0 10/10		0

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H18 黒本	110-5 2-1	1,4-ジブプロブ タン	医薬中間 体 <sup>3)</sup>	平成 18 年 (2006 年) : 製 造 30t (推定) <sup>3)</sup> 平成 16 (2004) 年度化学物質 の製造・輸入量 に関する実態 調査 ( $\alpha$ -, $\omega$ -ジブ プロモアルカン (C=2~4) と して) 1,000~ 10,000t 未満	nd~4.0 1/5				0
H18 黒本	109-5 9-1	2-(1-メチルエ トキシ)エタノ ール	インク、ペ ンキ、レジ ン等の媒 体、工業用 の洗剤及 び乳化剤 等 <sup>7)</sup>	平成 16 (2004) 年度化学物質 の製造・輸入量 に関する実態 調査 (アルキレ ン (C=2~8) グリコールモ ノアルキル (C=2~8) エ ーテルとして) 10,000~ 100,000t 未満				nd~30 3/7	0
H18 黒本	13619 1-64-5	メチル=2-(4,6- ジメトキシ-2- ピリミジニル オキシ) -6-[1-(メトキシ イミノ)エチル] ベンゾアート (別名:ピリミ ノバックメチ ル)	農薬 (除草 剤) <sup>5)</sup>	平成 18 (2006) 農薬年度: 製造 21.0t (原体)、 148.0t (1.2%1 キロ粒剤)、輸 出 4.6t (原体) <sup>5)</sup>	nd~2.5 1/13			nd 0/5	0
H20 黒本	35045 -02-4	6- <i>tert</i> -ブチル -3-メチルチオ -1,2,4-トリアジ ン-5(4 <i>H</i> )-オン (別名:メトリ ブジン-デスア ミノ)	メトリブ ジン分解 物 <sup>6)</sup>		夏 5/20 秋 0/1 夏 0.00047 ~ 0.0014 秋-	夏 0/20 秋 0/26 夏- 秋-			実施しない (分解物)
H20 黒本	52236 -30-3	6- <i>tert</i> -ブチル -1,2,4-トリアジ ン-3,5(2 <i>H</i> ,4 <i>H</i> )- ジオン (別名: メトリブジン- デスアミノ-ジ ケト)	メトリブ ジン分解 物 <sup>6)</sup>		夏 1/20 秋 0/1 夏 0.0028 ~ 0.0032 秋-	夏 0/20 秋 0/26 夏-秋-			実施しない (分解物)

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H20 黒本	143-5 0-0	クロルデコン	(過去の 用途例と して) 白蟻 駆除剤等 <sup>8)</sup>		13/46 0.00000 010~ 0.00000 076	10/49 0.0000002 0~ 0.0000058	貝 0/7 魚 0/17 鳥 0/2 貝- 魚- 鳥-		実施しない (化審法第 一種特定物 質)
H20 黒本	115-3 2-2	2,2,2-トリクロ ロ-1,1-ビス(4- クロロフェニ ル)エタノール (別名:ケルセ ン又はジコホ ル)	(過去の 用途例と して) 防ダ ニ剤 <sup>8)</sup>		13/48 0.00001 3~ 0.00007 6	13/63 0.000069 ~0.00046	貝 7/7 魚 14/17 鳥 1/2 貝 0.00005 ~0.00021 魚 0.000049 ~0.00027 鳥 0.00030		実施しない (SPEED' 98において 動物試験実 施済。その 後、化審法第 一種特定物 質)
H20 黒本	732-2 6-3	2,4,6- ト リ -tert ブチルフ ェノール	(過去の 用途例と して) 酸化 防止剤そ の他の調 製添加剤、 潤滑油 <sup>8)</sup>		0/48 -	1/63 0.0050~ 0.017	貝 0/7 魚 0/17 鳥 0/2 貝- 魚- 鳥-	温 0/81 寒 3/92 温- 寒 1.1~ 1.7	実施しない (化審法第 一種特定物 質)
H20 黒本	40088 -47-9	テトラプロモ ジフェニルエ ーテル類	(過去の 用途例と して) 難燃 剤 <sup>8)</sup>				貝 7/7 魚 17/17 鳥 2/2 貝 0.000020 ~0.00038 魚 0.0000098 ~0.0013 鳥 0.000032 ~0.0012		実施しない (化審法第 一種特定物 質)
H20 黒本	32534 -81-9	ペンタプロモ ジフェニルエ ーテル類	(過去の 用途例と して) 難燃 剤 <sup>8)</sup>				貝 7/7 魚 16/17 鳥 2/2 貝 0.000011 ~ 0.000094 魚 0.0000059 ~0.00028 鳥 0.000052 ~0.00044		実施しない (化審法第 一種特定物 質)

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H20 黒本	36483 -60-0	ヘキサブロモ ジフェニルエ ーテル類	(過去の 用途例と して) 難燃 剤 <sup>8)</sup>				貝 7/7 魚 17/17 鳥 2/2 貝 0.0000053 ～ 0.000082 魚 0.0000053 ～0.00031 鳥 0.000062 ～0.00038		実施しない (化審法第 一種特定物 質)
H20 黒本	68928 -80-3	ヘプタブロモ ジフェニルエ ーテル類	(過去の 用途例と して) 難燃 剤 <sup>8)</sup>				貝 7/7 魚 10/17 鳥 2/2 貝 0.0000068 ～ 0.000035 魚 0.0000075 ～ 0.000077 鳥 0.000019 ～ 0.000053		実施しない (化審法第 一種特定物 質)
H19 黒本	87-68- 3	ヘキサクロロ ブタ-1,3-ジエ ン	(過去の 用途例と して) 溶媒 <sup>8)</sup>		0/48 —	10/64 0.0000085 ～0.0013	貝 0/7 魚 0/16 鳥 0/2 貝— 魚— 鳥—		実施しない (化審法第 一種特定物 質)
H18 黒本	3846- 71-7	2-(2 <i>H</i> -1,2,3-ベン ゾトリアゾ ール-2-イル) -4,6-ジ- <i>tert</i> -ブ チルフェノー ル	(過去の 用途例と して) 紫外 線吸収剤 <sup>8)</sup>		nd～ 0.10 2/6	0.009～5.8 6/6	0.009～3.7 10/10		実施しない (化審法第 一種特定物 質)

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H20 黒本	特定 できない	ポリ塩化ナフ タレン類	(過去の 用途例と して) 機械 油等 <sup>8)</sup>				貝 7/7 魚 17/17 鳥 1/2 貝 0.000011 ~0.0013 魚 0.000011 ~0.0022 鳥 0.000017 ~ 0.000022	温 22/22 寒 36/36 温 0.035 ~0.66 寒 0.015 ~0.91	実施しない (塩素数が 3 以上のもの については 化審法第一 種特定物質)
環境基準 項目 (人の 健康の保 護に係わ る)	特定 できない	P C B	(過去の 用途例と して) 絶縁 油等 <sup>8)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年) 大 気 0、公共用 水域 118、土 壌 0、埋立 0、 排出量合 計 118	H12~ H21 基 準値超 過検体 あり				実施しない (化審法第 一種特定物 質)
H20 黒本	特定 できない	ジオクチルス ズ化合物	ポリ塩化 ビニルの 安定剤や 産業用触 媒等 <sup>6)</sup>		2/48 0.00073 ~0.010	56/63 0.00009~ 0.090	貝 4/7 魚 3/17 鳥 0/2 貝 0.00011 ~0.00060 魚 0.00037 ~0.11 鳥-		実施しない (対象物質 が特定でき ない)
環境基準 項目 (人の 健康の保 護に関す る)	特定 できない	カドミウム	(カドミ ウム及び その化合 物として) 顔料、電 池、合金 <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年) (カ ドミウム及び その化合物と して) 大気 1,762、公共用 水域 1,946、土 壌 0、埋立 85,633、排出 量合計 89,342	H12~ H21 基 準値超 過検体 あり				実施しない (対象物質 が特定でき ない)
環境基準 項目 (人の 健康の保 護に係わ る)	特定 できない	全シアン	(錯塩及 びシアン 酸塩を除 く) とし て) メッキ 助剤、写 真材料 (無 機シアン 化合物 <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年) (無 機シアン化合 物 (錯塩及び シアン酸塩を 除く) とし て) 大気 95,377、公共 用水域 30,801、 土壌 0、埋立 0、 排出量合計 126,178	H12~ H21 基 準値超 過検体 あり				実施しない (対象物質 が特定でき ない)



区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
環境基準 項目（人の 健康の保 護に係わ る）	特定 でき ない	鉛	（鉛及び その化合 物として） バッテリー、光学ガ ラス、顔 料、塩化ビ ニル樹脂 安定剤 <sup>1)</sup>	※2009年度 PRTR集計結 果(kg/年)（鉛 及びその化合 物として）大気 13,599、公共用 水域13,848、土 壌7、埋立 3,582,214、排 出量合計 3,609,667	H12～ H21基 準値超 過検体 あり				実施しない （対象物質 が特定でき ない）
環境基準 項目（人の 健康の保 護に係わ る）	特定 でき ない	六価クロム	（六価ク ロム化合 物として） メッキ、顔 料、触媒、 金属表面 処理剤 <sup>1)</sup>	※2009年度 PRTR集計結 果(kg/年)（六 価クロム化合 物として）大気 152、公共用 水域9,140、土 壌0、埋立0、排 出量合計9,292	H12～ H21基 準値超 過検体 あり				実施しない （対象物質 が特定でき ない）
環境基準 項目（人の 健康の保 護に係わ る）	特定 でき ない	砒素	（砒素及 びその無 機化合物 として）殺 虫剤、半導 体、木材防 腐・防蟻剤 <sup>1)</sup>	※2009年度 PRTR集計結 果(kg/年)（砒 素及びその無 機化合物とし て）大気4,485、 公共用水域 19,070、土壌0、 埋立 1,000,552、排 出量合計 1,024,107	H12～ H21基 準値超 過検体 あり				実施しない （対象物質 が特定でき ない）
環境基準 項目（人の 健康の保 護に係わ る）	特定 でき ない	総水銀	（水銀及 びその化 合物とし て）蛍光 灯、温度 計、アマル ガム、触媒 <sup>1)</sup>	※2009年度 PRTR集計結 果(kg/年)（水 銀及びその化 合物として）大 気17、公共用 水域139、土壌0、 埋立532、排 出量合計687	H12～ H21基 準値超 過検体 あり				実施しない （対象物質 が特定でき ない）
環境基準 項目（人の 健康の保 護に係わ る）	特定 でき ない	アルキル水銀	かつては、 有機水銀 系農薬、有 機水銀製 剤 <sup>9)</sup>		H12～ H21基 準値超 過検体 あり				実施しない （対象物質 が特定でき ない）

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
環境基準 項目（人の 健康の保 護に係わ る）	特定 でき ない	セレン	（セレン 及びその 化合物と して）ガラ ス着色剤、 整流器、光 電セル <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年)（セ レン及びその 化合物として） 大気 748、公共 用水域 4,766、 土壌 0、埋立 9,627、排出量 合計 15,141	H12～ H21 基 準値超 過検体 あり				実施しない （対象物質 が特定でき ない）
環境基準 項目（人の 健康の保 護に係わ る）	特定 でき ない	硝酸性窒素及 び亜硝酸性窒 素	電気めっ きにおけ る洗浄 剤・防錆 剤、希土類 精鉱の溶 解剤、その 他、製品の 触媒、化学 肥料など <sup>9)</sup>		H12～ H21 基 準値超 過検体 あり				実施しない （対象物質 が特定でき ない）
環境基準 項目（人の 健康の保 護に係わ る）	特定 でき ない	ふっ素	金属の研 磨やステ ンレスの 洗浄 <sup>9)</sup>		H12～ H21 基 準値超 過検体 あり				実施しない （対象物質 が特定でき ない）
環境基準 項目（人の 健康の保 護に係わ る）	特定 でき ない	ほう素	（ほう素 及びその 化合物と して）電 機・電子工 業（液晶パ ネル、ドー ピング 剤）、脱酸 剤、ガラス 繊維用添 加剤、消毒 剤 <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結 果 (kg/年)（ほ う素及びその 化合物として） 大気 81,566、公 共用水域 2,893,246、土 壌 150、埋立 4,654、排出量 合計 2,979,615	H12～ H21 基 準値超 過検体 あり				実施しない （対象物質 が特定でき ない）
環境基準 項目（人の 健康の保 護に係わ る）	特定 でき ない	全窒素及び全 燐	湖沼や内 湾など閉 鎖性水域 の富栄養 化の指標 <sup>9)</sup>		H12～ H21 基 準値超 過検体 あり				実施しない （対象物質 が特定でき ない）

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
環境基準 項目（人の 健康の保護 に係わる）	特定 できない	全亜鉛	（亜鉛の 水溶性化 合物とし て）金属表 面処理、乾 電池、殺菌 剤 <sup>1)</sup>	※2009年度 PRTR集計結 果（kg/年）（亜 鉛の水溶性化 合物として）大 気 19,254、公共 用水域 601,783、土壌 43、埋立 262,069、排出 量合計 883,148	H16～ H21指 針値超 過地点 あり				実施しない （対象物質 が特定でき ない）
要監視項 目（人の健 康の保護 に係わる）	特定 できない	オキシ銅（有 機銅）	農薬（殺菌 剤） <sup>1)</sup>	※2009年度 PRTR集計結 果（kg/年）大 気 0、公共用水 域 270、土壌 0、 埋立 0、排出量 合計 270	H6～ H21指 針値超 過地点 なしだ が、検出 地点有 の可能 性あり				実施しない （対象物質 が特定でき ない）
要監視項 目（人の健 康の保護 に係わる）	特定 できない	ニッケル	メッキ、磁 性材料、ス テンレス 鋼、ニッケ ル鋼 <sup>1)</sup>	※2009年度 PRTR集計結 果（kg/年）大 気 1,759、公共 用水域 1,494、 土壌 1、埋立 9、 排出量合計 3,263	H6～ H21指 針値超 過地点 なしだ が、検出 地点有 の可能 性あり				実施しない （対象物質 が特定でき ない）
要監視項 目（人の健 康の保護 に係わる）	特定 できない	モリブデン	（モリブ デン及び その化合 物として） 特殊鋼、顔 料、触媒 <sup>1)</sup>	※2009年度 PRTR集計結 果（kg/年）（モ リブデン及び その化合物と して）大気 3,535、公共用 水域 63,043、土 壌 9、埋立 44、 排出量合計 66,631	H6～ H21指 針値超 過地点 あり				実施しない （対象物質 が特定でき ない）
要監視項 目（人の健 康の保護 に係わる）	特定 できない	アンチモン	（アンチ モン及び その化合 物として） 樹脂難燃 助剤、顔 料、蓄電 池、半導 体、ガラス 材料 <sup>1)</sup>	※2009年度 PRTR集計結 果（kg/年）（ア ンチモン及び その化合物と して）大気 1,481、公共用 水域 4,092、土 壌 31、埋立 315,776、排出 量合計 321,379	H6～ H21指 針値超 過地点 あり				実施しない （対象物質 が特定でき ない）

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
要監視項目(人の健康の保護に係わる)	特定できない	全マンガン	(マンガン及びその化合物として)特殊鋼、電池、磁性材料、脱酸素剤、酸化剤 <sup>1)</sup>	※2009年度PRTR集計結果(kg/年)(マンガン及びその化合物として)大気38,092、公共用水域703,354、土壌97,111、埋立5,409,009、排出量合計6,247,566	H6~H21指針値超過地点あり				実施しない(対象物質が特定できない)
要監視項目(人の健康の保護に係わる)	特定できない	ウラン	核燃料、ウラン化合物 <sup>3)</sup>		H6~H21指針値超過地点あり				実施しない(対象物質が特定できない)
H20 黒本	63-25-2	N-メチルカルバミン酸 1-ナフチル(別名: NAC 又はカルバリル)	農薬(殺虫剤) <sup>1)</sup>	平成20(2008)農薬年度製造3.4kL(20%水和剤)、7.1kL(5.0%乳剤)、5.9kL(30%水和剤)、44.7t(1.0%粒剤)、237.3t(3.0%粒剤)、1.5kL(30%水和剤)、9.6kL(50%水和剤)、58.7kL(85%水和剤)、0.0t(3.0%粉剤)、605.3t(5.0%粒剤)輸入125.6t(原体) <sup>5)</sup> ※2009年度PRTR集計結果(kg/年)大気1、公共用水域7、土壌0、埋立0、排出量合計8	夏 19/20 秋 0/32 夏 0.000012~ 0.0099 秋 -				実施しない(信頼性評価済)

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
要監視項目 (人の健康の保護に係わる)	106-4 6-7	p ジクロロベンゼン	合成原料 (ジアミノベンゼン、染料、合成樹脂用)、農薬 (殺虫剤)、防臭剤 <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 大気 31,339、公共用水域 20、土壌 0、埋立 0、排出量合計 31,359	H6~ H21 指 針値超 過地点 なしだ が、検出 地点有 の可能 性あり				実施しない (信頼性評 価済)
要監視項目 (人の健康の保護に係わる)	333-4 1-5	ダイアジノン	農薬 (殺虫剤) <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 大気 52、公共用水域 0、土壌 0、埋立 0、排出量合計 52	H6~ H21 指 針値超 過地点 なしだ が、検出 地点有 の可能 性あり				実施しない (信頼性評 価済)
要監視項目 (人の健康の保護に係わる)	122-1 4-5	フェニトロチオン	農薬 (殺虫剤) <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 大気 0、公共用水域 0、土壌 0、埋立 0、排出量合計 0	H6~ H21 指 針値超 過地点 あり				実施しない (信頼性評 価済)
要監視項目 (人の健康の保護に係わる)	2104- 64-5	E P N	農薬 (殺虫剤) <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 大気 0、公共用水域 21,640、土壌 0、埋立 0、排出量合計 21,640	H6~ H21 指 針値超 過地点 なしだ が、検出 地点有 の可能 性あり				実施しない (信頼性評 価済)
要監視項目 (人の健康の保護に係わる)	62-73- 7	ジクロロボス	農薬 (殺虫剤) <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 大気 22、公共用水域 16、土壌 0、埋立 0、排出量合計 38	H6~ H21 指 針値超 過地点 なしだ が、検出 地点有 の可能 性あり				実施しない (信頼性評 価済)
H20 黒本	84-74- 2	フタル酸ジ-n-ブチル	可塑剤 <sup>1)</sup>	※2009 年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 大気 14,233、公共用水域 374、土壌 0、埋立 0、排出量合計 14,607	18/45 0.11~ 0.66	22/62 0.047~ 0.78	貝 2/7 魚 12/17 鳥 0/2 貝 0.038~ 0.10 魚 0.03~ 0.18 鳥-		実施しない (SPEED' 98において 動物試験実 施済)

区分	CAS 番号	調査対象 物質	用途	生産量・輸入量 ※PRTR 集計排出量	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
要監視項目 (人の健康の保護 に係わる)	117-8 1-7	フタル酸ジエチルヘキシル	可塑剤 <sup>1)</sup>	※2009年度 PRTR集計結果(kg/年)大気109,940、公共用水域292、土壌19、埋立0、排出量合計110,251	H6～H21指針値超過地点なしだが、検出地点有の可能性あり				実施しない (SPEED'98において動物試験実施済)

参考文献

- 1) 経済産業省製造産業局化学物質管理課 環境省環境保健部環境安全課、平成21年度PRTRデータの概要 化学物質の排出量・移動量の集計結果(平成23年2月24日公表)  
(<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/result/gaiyo.html>)
- 2) 環境省、PRTR インフォメーション広場 対象物質情報  
([http://www.env.go.jp/chemi/prtr/archive/target\\_chemi.html](http://www.env.go.jp/chemi/prtr/archive/target_chemi.html))
- 3) 化学工業日報社、15710の化学商品(2010)及びバックナンバー
- 4) 独立行政法人農林水産消費安全技術センター、登録農薬有効成分(魚毒性・毒性一覧)、失効有効成分一覧  
(<http://www.acis.famic.go.jp/toroku/index.htm>)
- 5) 社団法人日本植物防疫協会、農薬要覧(農林水産省消費・安全局農産安全管理課・植物防疫課監修)
- 6) 環境省環境保健部環境安全課、化学物質環境実態調査ー化学物質と環境  
(<http://www.env.go.jp/chemi/kurohon/index.html>)
- 7) 厚生労働省医薬局審査管理課化学物質安全対策室、化学物質毒性試験報告 vol.10(化学物質点検推進連絡協議会発行)(2003)
- 8) 環境省総合環境政策局環境保健部企画課化学物質審査室、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律について  
(<http://www.env.go.jp/chemi/kagaku/kisei/class1.html>)
- 9) 国立環境研究所、環境数値データベース/環境GIS、公共用水域の水質測定結果データの説明(測定項目)  
([http://www.nies.go.jp/igreen/explain/water/sub\\_w.html](http://www.nies.go.jp/igreen/explain/water/sub_w.html))